

乙訓平和委員会ニュース

発行年日2023年9月5日 No.457 発行・乙訓平和委員会 編集責任者・米重節男
電話・FAX 075-932-3546 MAIL heiwaotokuni@gmail.com

国民がじかに首相を選べたらいいのに！！ 軍拡に気前よく金を出すが、それは税金でしょ！

向日市 中野猪艶

戦争は絶対にダメ、アカン に決まっている。
それなのに岸田首相は、大軍拡の話とか敵基地攻撃、さらには武器輸出とかが目白押し。そんな話はもうゴメンです。日本には憲法9条があるでしょう。
なのに、国民の知らない間に自衛隊基地が新設され、さらには弾薬庫を強化拡大することが進んでいます。周辺の住民が気づいた時には、すでに手遅れ状態。もし「有事」となった時には真っ先に攻撃を受けて、周辺住民も巻き込まれてしまうと思うと、不安が増します。

災害列島日本は被災者だらけになることも

日本中で大水、浸水被害、山崩れとか、道路が流

されて孤立だとかが相次いでいるではないですか。

国中が被災者だらけになるという時に、そんな事にお金を使うの？こんなことを思うのは私だけでしょうか。いま、日本でも1食100円で日々を過ごしている人もいると言うのに、税金の使い方が違うのではないですか。国会議員の中には、長靴はいて土方仕事して被災者に寄り添い、住民の声に耳を傾けている人もいます。国民の困りごと解決に動くのが、議員の仕事ではないのかと思います。岸田政権は、米国と財界の方だけ見ている様だと思います。そう思うと、国民が首相を直接選べたらいいのと思うこの頃です。

薄めても排出総量はいっしょ！約束を守るのが先にすること 「処理水」と呼ぼうが放射能に汚染した水でしかない

向日市 米重節男

東電福島第一原発に溜まる一方の汚染水を、8月24日に海洋放出を始めました。岸田首相は、「今後数十年の長期にわたろうとも全責任を持つ」などと発言していますが、8年前の約束こそ果たすべき責任です。海洋放出に強く反対し抗議します。

原発の敷地内のタンクに溜まり続けているのは、溶け落ちた核燃料に触れて放射性物質を含んだ水です。他の通常運転中の原発のトリチウム排水とは違うものです。海水で薄めると言っても、流される放射性物質総量は減るわけではありません。そもそも、

汚染水が貯まり続けるのは、地下水が原子炉に流れ続けるからです。それを防ぐのが先決で、すでにその技術も含めて提言も出ていますが、政府や東電は聞く耳持たずの姿勢です。

トリチウムは半減期が12.3年ですから、50年も60年先までも放出するのなら、その期間保管するだけで、問題ないレベルに減衰します。

海洋放出で起きているのは、風評ではなく実害そのものです。放出は直ちにやめるべきです。

(2面に別記事)

たび 「他火をもらいに」

先日、山口県の岩国に行く機会がありました。それは、演劇教育の研修のためでした。中学教員と言えども、担任としてクラス劇を担当しますし、授業でも創意工夫のために、演劇的手法が必要です。

この3年、コロナ禍で他の地域に研修に行けませんでした。それがようやく緩和してきたので思い切って、広島のさらに向こう側にある山口県岩国に行くことにしました。

2日間参加しましたが、合計3つの講座を受けました。特に印象に残ったことがいくつかあります。

- ①とにかく講師の先生たちが元気、エネルギー、伝えたいことが山ほどある、自分たちのやっていることにミッション(使命)を持っておられる。
- ②演劇教育の研修のせいか、女性の参加者がまぼ8割に近いくらい多い。若い先生、特に20代-30代の小学校の先生がおられた。
- ③今回の講座で、自分の知らなかったことを知れた。演劇教育は敷居が高いかな？
とっていたが、守備範囲が広いことがわかった。

紹介

「9条を守る活動」にノーベル平和賞を、と9月末締め切りでノーベル委員会宛ての署名活動が呼びかけられています。詳しくは次のホームページから

○署名用紙 <https://is.gd/Wm5CM7>

○ネット署名サイン

<https://www.change.org/peace-article9>

5月31日で合計738,582筆が寄せられていると発表されています。

受けた講座は(1)元中学校校長先生の落語と講演、(2)音楽工場といったグループの方の音遊び、(3)人形劇をされている方の群読、とどの講座も新鮮でした。

新しく知れた言葉もそれぞれにありました。

- (1)「褒めることは、子どもを認めること」
- (2)「聴かせたいと思ったら見せないといけない、見せたい時は聴かせるとよい」
- (3)(群読の際に)「ただセリフを読むのではなく、話かける相手を見て読む」

なぜこうやって「遠くまで学びに行くのか？」と。今回のエッセイのタイトルの他火とは、読んで字のごとく「たび」。他の場所まで「火をもらいにいくこと」なんです。まさしくこれが旅の語源なのです。お陰様でいま元気になれました！

(23.08.28)

(元校長先生の落語と講演の高座)



お知らせ 9月は会費・紙誌代を集める月です。

担当者が伺いますので、ご協力ください。